



発行(社)日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報委員会) 〒263-0031千葉県千葉市美浜区高洲3-20-38 (株)齋藤建築設計事務所内 TEL 043-277-5005 FAX 043-277-0906

第1回親睦旅行を銚子で開催、長倉氏が提案していた「構造設計者のかかえる問題」を語りあう

去る12月5日(日曜日)夕方5時に現地集合翌朝6日(月曜日)9時現地解散という忙しい会員の皆さんに合わせたスケジュールの中、千葉県銚子市の京成ホテルにてJSCA千葉第1回親睦旅行が開催されました。



定例役員会の様子

機関の関

夜半から冬の嵐の余波で午後のは太平洋はまだ波高く、交通

係で途中からやむなく引き返された方もおりました。役員は4時30分に集合し、定



フリータイムスカッシュの様子

りです。5時30分

より、事前に提案されていた「構造設計者のかかえる問題」の様々な側面について、長倉氏のフリータイムスカッシュが行われました。フリータイムスカッシュの内容は二面でご紹介いたします。(園部)

JSCA千葉役員会議事録抜粋(坂惠)

<p>役員表 齋藤美佐男 副代表 向後 勝弘 総務委員 坂惠 一巳 向後 勝弘 長内 光雄 委員委員 明智 孝夫 齋藤 利彦 服部 信幸 研修委員 園部 隆夫 市原 嗣久 西澤 博文 広報委員 安田 良一 鈴木 泰久 技術委員 市原 嗣久 齋藤 利彦 鈴木 泰久監 事 齋藤 功治 貞崎 雄一</p>	<p>平成16年度 第4回7月21日(18:00~) (出席:齋藤代表他9名) 向後 勝弘 園部 隆夫 坂惠 一巳 向後 勝弘 向後 勝弘 長内 光雄 委員委員 明智 孝夫 齋藤 利彦 服部 信幸 研修委員 園部 隆夫 市原 嗣久 西澤 博文 広報委員 安田 良一 鈴木 泰久 鈴木 泰久 市原 嗣久 市原 嗣久 齋藤 利彦 鈴木 泰久監</p>	<p>平成16年度 第4回7月21日(18:00~) (出席:齋藤代表他9名) 向後 勝弘 園部 隆夫 坂惠 一巳 向後 勝弘 向後 勝弘 長内 光雄 委員委員 明智 孝夫 齋藤 利彦 服部 信幸 研修委員 園部 隆夫 市原 嗣久 西澤 博文 広報委員 安田 良一 鈴木 泰久 鈴木 泰久 市原 嗣久 市原 嗣久 齋藤 利彦 鈴木 泰久監</p>	<p>平成16年度 第5回9月10日(18:00~) (出席:齋藤代表他8名) 向後 勝弘 園部 隆夫 坂惠 一巳 向後 勝弘 向後 勝弘 長内 光雄 委員委員 明智 孝夫 齋藤 利彦 服部 信幸 研修委員 園部 隆夫 市原 嗣久 西澤 博文 広報委員 安田 良一 鈴木 泰久 鈴木 泰久 市原 嗣久 市原 嗣久 齋藤 利彦 鈴木 泰久監</p>	<p>1. 会員委員会でEメールの検討を行い齋藤代表定したとの紹介あり。 2. ポリテクセンターでの講習会に関して千葉市の講習会に紹介して千葉市の講習会の実施案の決定あり活用する。 第8回12月5日(16:30~) 大映崎京成ホテルにて 出席:齋藤代表他7名 1. 建築会館の耐震診断に対する協力の実施決定 2. 新年会の計画検討: ・1/28で決定・講演会講師は東工大和田教授(なお、当日会議後長倉氏との意見交換会をもった) 第7回11月10日(18:00)の意見交換会をもった)</p>
--	---	---	---	---

「第1回親睦旅行記」犬吠編 会員レポート

有限会社SPC設計 園部 隆夫

(一面からの続き)
さて、構造設計者のかかえる問題は様々ですが、プレゼンテーションの内容は、

①構造設計者、構造技術者として技術、知識の更なる向上と修得が必須であり、そのための場の提供ができるのはJSCA千葉ではないか。

②設計責任の問題を、我々はどう扱い対応して行けば良いのか。

③自分の得意分野、専門分野において難題に直面したり、専門外の問題に遭遇した場合、我々はどうにお互い支援、協力、協働して行けるか。

④設計ミスを起こさないために「JSCA千葉ができる役割はなにか。

⑤構造設計、工事監理、材料、施工、情報処理、等の分野で長年活躍され、定年などにより現役を引退された千葉在住の先輩方を、機会あることに後継者の育成を兼ね我々の中に「ご参加いただき、勉強会スタイルでその経験、知識を伝達、活用させて頂く場をもっと積極的に持つことを考えるべきではないか。

⑥若手構造設計者の育成のため、学習会、講習会に若手を参加させるのは事務所の状況から困難が伴う。所長等が出席した会の情報を持ちかえり、所員に確実に伝達するよう心掛けている。

⑦勉強会の主たる役割は技術委員会を主にしてはどう

か。

⑧大上段に構えた動きではなく、小人数でも良いから実りある勉強会のサークルを作り出して行けば必ず輪は広がっていくと思う。

といったものでした。

1時間程度ではとても十分

審議できるテーマではありませんが、今後の活動のきっかけ、活動方針の一つとなる意義あるかつ貴重な時間でした。

た。



お開きの挨拶、園部、竹内会員

夜はにぎやか

に宴会場(大広

間を間仕切りし

た小部屋)での

夕食でした。

何しろ遮音性

のまったくな

い、視線だけを

遮る間仕切りで

したから、お隣

の超元氣なおば様の

カラオケで氣勢をそ

がれ、我々の夕食は静かな会となりました。どう

も一次会では本来の調子が出せずホテル内のバーに向

き、やっとリラクックスできる場を持つ事ができました。

酔った勢いでフロア

一を歩いていたお嬢

様?にウイスキーを持

つてきてほしい旨伝え

たら、「私はこの店の

ものではありません」

と冷たい視線で断られ

てしまいました。お客

さんがお客さんに注文

する方も問題ですが、

もう少しのやさしさが

あってもと感ぜられ、

今時の女性の強さを痛感させられたシーンでした。「美し

いものには……」と言った所でしょうか。

その後も部屋で有意義な深夜のコミュニケーション(中には寝てしまっている方もいましたが)ができ、仕事から離れた会員の素顔にせまることができました。

今回は、協力会員である(株)角藤様から竹内さんを出席させて頂き、若手代表として頑張って頂きました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

今後は是非多くの会員の方々にご参加頂き、さらに有意義な親睦会となるよう努力して行きたいと考えております。

次回は、会員皆様方の奮ってのご参加を心よりお待ちしております。上げる次第です。



熱唱する長倉会員、唄うは・・・エート。



左から齋藤(利)、竹内、坂恵、向後会員

会員委員会定期便 次の方々「JSCA千葉の所属となりました。(日付順)

富島誠司さん、市原市平田1109、0436-21-8244。竹下章治さん、千葉市美浜区真砂2-15-1-906、043-277-2808。貞弘清英さん、浦安市入船4-13-18、047-380-0006。曾根洋治さん、我孫子市布佐1950-2(36街区17)、04-7181-5021。加納信幸さん、流山市大畔440、04-7158-6531。出井正人さん、市川市南大野1-28-18、047-338-3762。(明智孝夫・斉藤利彦・服部信幸)

中越地震支援金10万円、本部に送金致しました。ご協力ありがとうございました!

2005年、JSCA千葉新年会

新年会及び記念講演会のご報告

(株) 齋藤建築設計事務所 齋藤 美佐男

1月28日(金)に第8回新年会をホテルサ
ンガーズ千葉で開催しました。



この度の新年会
は耐震工学の權威
で、かつ日本建築
学会の副会長であ
る東京工業大学の
和田章教授をお迎
えできました。

和田教授は損傷制御設計法の国内での提唱者
として、制振・免震を含む①耐震構造②耐風構
造③大スパン超高層④数値計算力学を主トリー
アとして活躍されています。「構造物は考えた
ところでは壊れない」という演題で、下界定理か
ら説明できること、上界定理から「考え抜くこ
と」など構造設計上の重要なポイントをお話に
なりました。

新潟中越
地震の直後
のこの時期
に私共にと
って有益か
つ今後の指
針となるも
のとなりま
した。新年
のお忙しい時期ではありましたが、たくさんの方の御出席を賜り各位にお礼申し上げます。



JSCA千葉におきましては、12月始めに

中越地震被災者への義援金のお願いを呼びかけま
したところ、12名様より6万3000円の義援
金を頂きました。支部より3万7000円を支出
し、本部に合計10万円を中越地震活動支援金と
して12月15日に送りました。1月12日現在、
本部には合計236万5191円が活動支援金と
して寄せられているとの事です。ご協力ありがと
うございました。(齋藤美佐男)

JSCA千葉後援講習会の開催

昨年12月8日(水)午前9:30よりJSCA千葉後援に
よる隔日2日間における、第1日目の講習会が開催された。
(高度ポリテクセンターにて)



第1日目の内容としては
『木造建築の構造設計を考
える』のテーマで、「復元
力特性と解析モデル・エネ
ルギー法の解説」を木林氏
に、「木質材料・接合部の
特性及び品質管理と」J
SCA標準仕様」を金箱氏
に、そして「限界耐力法による新築木造3階建ての計算事例と
解説」を真崎氏にと、3名の講師による有意義な解説でありま
した。
又、この中で筋かい(X型)+合板の組み合わせによる試験体
の静的加力実験も行われ、結果は柱脚の破断(土台上より約4
0cm)であったがこの静的実験上でも、木造って金物等をしっ
かり付けておけば、結構丈夫?とも思いました。このほか振動
台における模型(ミニシ
ーム)実験も行われまし
た。
参加者は30名で皆、
熱心なる受講風景であり
ました。第2日目は2月
4日(金)です。忘れずに
必ず受講して下さい。
(長内)



千葉JSCA技術委員会勉強会報告欄(定例月1回予定)

<p>技術委員会 委員長 市原嗣久 会場 千葉市文化センター 平成16年度JSCA千葉 勉強会報告 (佐藤建築構造設計事務所 佐藤暢彦)</p>	<p>11月24日(水) (18:00~21:00) 出席、市原委員長他6名 耐震診断Q&A ・鉄骨梁ジョイントの保有耐力 接合の検討方法について。・下 階壁抜け柱の補強で、直交方向 の補強ジョイントにより補強を兼 ねた場合の柱軸耐力の検討方法 について。</p>	<p>「育成会員」の募集 さきの第1回視察旅行で提案 された、後継者育成の為に、現 在を引退されたJSCA千葉の中 心委員、在任委員の諸先輩方の中 で勉強会の講師を行って頂ける 方を「育成会員」(ふさわしい 名称は考慮中です)として募集 しております。 1年に数回(3回程度)は、</p>	<p>このスタイルの勉強会を行いた いと考えています。 「育成会員」登録していた ける方は、市原までご連絡くだ さい。 連絡先(有)市原建築構造設計 事務所 市原嗣久 (お気軽にご連絡下さい) TEL 043-252-6174 (TEL・FAX 兼用)</p>
--	--	--	--

2サコラシ 6 地震の入力エネルギーを考える

エネルギー釣合式の入力エネルギー式は図の如く表現されている。左辺は建物の消費エネルギーで右辺が建物の入力エネルギーである。

エネルギーの釣合式

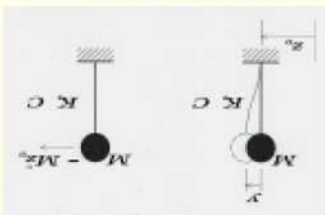
$$M \int_0^T \ddot{x} dt + C \int_0^T \dot{x} dt + \int_0^T K y \dot{x} dt = -M \int_0^T \ddot{x}_g dt$$

言葉で書くと右式の入力エネルギー = (建物質量×地動加速度) × (建物速度×時間)、つまり「力×建物変位」と表現できる。しかし建物速度を地動速度に置き換えて「力×地動変位」ではないのか?又、

加速度・速度・変位にしても地動加速度+建物加速度 = 絶対加速度・地動速度+建物速度 = 絶対速度・地動変位+建物変位 = 絶対変位ではないのか?

何故なら地震により建物が受けるエネルギーの総量(入力エネルギー)は地動の加速度のみでなく地動速度、地動変位が重要であると考えらるからである。

真崎雄一



木造制振構造

GVA工法

住宅のショックアブソーバー

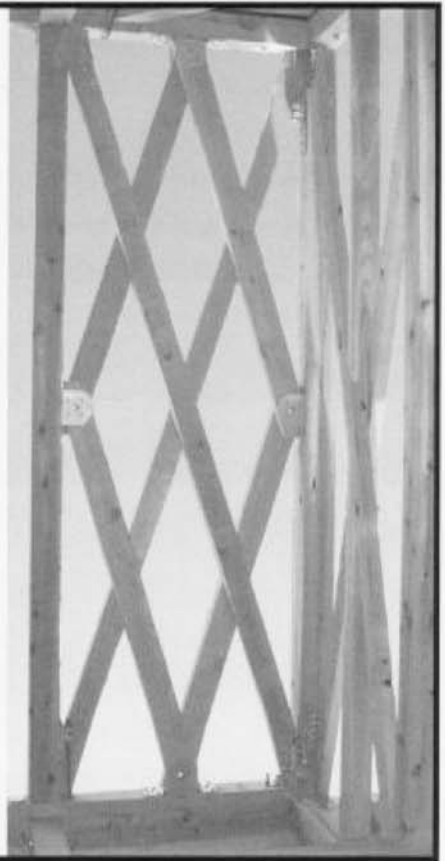
このほど日本建築防災協会が改訂した「木造住宅の耐震診断法」の中で初めて制振による減衰効果が評価され、制振工法の採用が可能になりました。

今後、制振工法市場の飛躍的な拡大が予想されます。

GVA友の会 会員募集

【幹事会社】 株式会社 MASA建築構造設計室 株式会社 アイ・エム・エム 株式会社 カライ
 株式会社 ランペックシステム 株式会社 経済測広

事務所: www.gva-tomo.com E-mail: k-nikkuma@adweb-ima.co.jp
 東京都中央区銀座6-13-7 新保ビル6F 電話03-5565-5160 傳真03-5565-0222



編集後記 (2005. 1. 15)
 昨今いろいろな事柄で反転が起こっていますね。男の女性化、大人の幼児化、横領や殺人など事件が増え、小遣いは減る。家ではついで座に座っている私、身に覚えのある方?
 居酒屋では「立場それなり」に見える人でも帰宅症候群の発症が観察され、寒さやまよすばかりなり。
 スケートやアイス、ホッケー以外のスケートが向かいにくい世の中、視力が低下したりで、裸の王様を見ても黙っている人だけになるかも。
 午後1時59分と言われ久しいこの時代、見直すタイムリツラ失うてるでしょうか。24時1分に無事に遭遇したいものです。
 ところで、スナックか宴会所か、宴会所かスナックかという理想的な

店をご紹介します。あまりの不景気で客がおらず(総理一)、基敵とスケルトンで基を打ち出したら又が「ねえ、基はお酒のつまみになるの?」私「なんか注文しろってこと?演繹的に。」「いいえ、基をだしたのおつまみをだした事と同じかと思って。」私「うっかり「そりや頂きますね。」以来、つまみの替わりに基を出してもう事にしましたとき。こんな場合じゃないんですけどネ。(安田)
 「ホケット」稲毛区小仲台3-1-1。ローソク2F。043(256)4008、元美人又ア=トモさん。基盛有リ予算人それぞれ。